



2021年4月1日発行
1947年10月27日
第3種郵便物認可
発行所/日本YMCA同盟
東京都新宿区本郷町 2-11
THE YMCA 神戸版
神戸YMCA
〒650-0001
神戸市中央区加納町 2-7-11
Tel 078-241-7201
Fax 078-241-7479
www.kobeymca.org
発行人/井上 真二
編集人/松森正樹
印刷/有わかばやし印刷

YMCA News



年間聖句 「光あれ。」 創世記 1章3節

2021年度がスタートします

総主事 井上 真二

それは1年前から始まった

ちょうど1年前の「2020年度がスタートします」の冒頭では次のように書いています。

～日本では1月の大寒を迎える頃から影響が出始めた新型コロナウイルス。いまだよくわからないこの感染症が引き起こす様々な世界規模のダメージがいつ収束するのかもわかりません。公衆衛生とは、グローバル化とは、ウイルスとの共存とは、様々な課題がつけつけられる2020年のスタートになりました。～

1年後の今の私たちを取り巻く状況はどうでしょうか。1月14日から大阪、兵庫、京都に出されていた緊急事態宣言が2月末をもって解除されましたが、関東エリアは当初の3月7日から再延長されました。変異株、ワクチン問題等、不安定な状況は依然として続いています。



光と真実を大切にする

さて、2021年度の年間聖句はミッション委員会の皆さんが協議をしてくださり、旧約聖書創世記 1章3節から選ばれました。人々の心が暗くふさがちな状況にあって、天地創造の始まりである「光」という言葉にフォーカスされました。2019年度、2020年度の年間聖句にも「光」が含まれており、その聖句との連続性もあることや、聖書で語られる「光」には「真実」という意味もあり、人々が分断され、混沌とする世にあって「光と真実を大切にする」というメッセージも込められています。コロナ禍にあって地球規模で様々な困難な状況にあるからこそ、目の前の子どもや若者が希望を抱くことができるような働きをなしていきたいと思います。2021年度もこの聖句を掲げ、神戸YMCAの全ての活動がポジティブネットを広げ、希望ある豊かな社会を創り、社会に必要とされることを目指します。

与えられた神様の光が、集うすべての人々に注がれますように。
希望ある未来に向けて、共に歩むことができますように。
新しい年度も引き続き皆様のご支援、ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。



■神戸YMCA大会のお知らせ

神戸YMCAに関わる人たちが一堂に集まり、世代を超え、これからの歩みを確かめ、将来に向けて語り合い、楽しく喜びがあふれる一日とすることを願い、神戸YMCA大会を行ないます。昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で書面による開催でしたが、右記の通り、開催に向け、計画を進めています。ご予約いただき、是非、ご参加ください。なお、総会はこの神戸YMCA大会の中で開催致します。

日時 2021年6月26日(土)

- 会場参加型とWEB参加型とのハイブリッドでの開催。
- 新型コロナウイルスの感染状況により、実施形式を変更させていただくことがあります。
- 内容につきましては、改めてご案内いたします。



Pick up



教会で神様のお話を聞きました
[西神戸YMCA幼稚園]

みんな大好き! 紙ヒコーキ

[たかとり児童館]



雪、めっちゃ積もってる～!
[ちびっこ雪遊びキャンプ]

コロナ禍のユースたちの歩みと思い

卒業と門出

神戸YMCAボランティアリーダー

昨年の今頃はコロナの蔓延がまるで大学生を中心に広がっているかの様な報道がなされていたことを思い出します。社会の風当たりは強く冷たいものでした。

そんな中、リーダーたちは学校も習い事もなく、遊ぶ場所も集う場所もない子どもたちのために3月末にリフレッシュデイキャンプを実施しました。子どもたちが野山を走り回り、擦り傷を作って帰ってくる姿を保護者の方も一緒になって喜んでくれました。

社会の状況を見ながらオンラインも利用し、デイキャンプや夏冬休みのキャンプの実施をしてきました。何を持って”不要不急”とするのか、少なくとも「学業」と「キャンプ体験」において、私たちには等価だったのです。

またリーダーたちは緊急事態宣言の有無に関わらず、自らの感染リスクを下げるために自主隔離、自主検疫を日々実施していました。それらは決して楽なものではありません。また、リスクは完全にコントロールできるものではなく、常に付きまといまいます。しかし、「キャンプ体験の提供を止めない」をスローガンに周りがどんなに騒ごうとも淡々と続けました。

様々な理由から活動に参加できないリーダーも多くいましたが、たとえ携わることができない期間も仲間やメンバーのことを忘れたことはありませんでした。彼らは社会の変わり様を見て、悲劇に酔うのではなく、真実から目を背けずに顔を上げて前へと歩きました。だからこそ全てのリーダーに称賛を送りたいと思います。

それはこの1年が全てではなく、今年卒業する4回生とこれまで共に歩んできた記憶と体験があったからこそできたことだからです。

卒業する彼彼女らの旅立ちを拍手で送りたいと思います。

どんなときでも、一人ひとりが自分らしく 神戸YMCA高等学院

3月5日(金)、神戸YMCA高等学院の第17回卒業礼拝が行われ、16名の生徒が巣立っていきました。

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、授業や行事の中止や変更がありました。また、大学受験など、進路においても同様に、様々な変化に対応しなくてはならない一年でした。そのような中、いよいよ高校卒業です。礼拝では、今年も、あたたかい雰囲気の中、全員がのびのびと卒業のスピーチを行いました。

「この3年間で、今までで一番楽しい時間でした。」と言ったNさん。思い出を一つひとつ書いて、残してくれました。友だちが出来るか不安だった学校初日。男子全員に声をかけてくれた同級生の存在に救われたこと、最初の特別活動「ボウリング」でブービー賞をとったこと、テーブルマナーで、バナナをフォークとナイフで食べたこと、授業で男子一人になり困ったこと...、2年目、楽しみにしていたフィッシングの実習を寝坊で落として悲しんだこと、翌年リベンジを果たしたこと、パソコン検定で1級を取得出来たことなど。最後は『人生で初めて、大きな検定(日商簿記3級)を受けた。合格の自信がある。』でした。その言葉に、Nさんのたくましく成長した姿と、未来への希望が感じられ、胸が熱くなりました。

不登校など、様々な経験を経て入学してきた生徒たち。そんな彼らが、新しい学校生活への不安を乗り越え、自分と向き合い、またコロナ時代の制約下でも選択をし続け、卒業の日を迎えられたことは、間違いなく彼ら自身の力です。自信を持って、明日からも歩いてゆけますように!

一人ひとりが自分らしくいられる皆の高等学院でありたいと、あらためて心に刻んだ一日となりました。



日本語スピーチコンテスト、開催される 神戸YMCA学院専門学校日本語学科



3月3日(水)、「第12回 コミュニカ学院・神戸YMCA日本語スピーチコンテスト」を開催いたしました。今年は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、神戸YMCA三宮会館チャペルを会場にして、オンラインでの実施になりました。各校の代表者15名、司会2名、審査員の方3名が会場に集まり、その他の学生は各教室で視聴しました。今年のスピーチのテーマは「私の声」でした。日本に来て経験したことや日本語を学んで感じたこと、日本に来た理由など、それぞ

れの思いがしっかりと伝わるスピーチ大会でした。新型コロナウイルス感染症で、色々な行事が中止せざるを得ない中、コミュニカ学院とこのような形でスピーチコンテストができたことは、学生にとっても、自分の努力が認められたことであり、更なる進歩につながると思います。今回、無事に開催できたのは、ワイズメンズクラブ六甲部の皆様をはじめ、各関係企業・団体様からのご支援があったこと。心より感謝申し上げます。



いじめのない世界をつくる YMCAピンクシャツデー

社会全体がいじめに対して、「自分事として」向き合うこと、そして被害者と加害者以外の立場にいる人が「傍観者にならないこと」が、いじめられている人を救うことになる...と私たちは考えます。3月20日(土・祝)には、フリースクール For Life から矢野良晃先生をお招きし、私たちの日常生活の中に潜んでいるいじめにつながっていくものに大人が気づき、理解し、いじめの当事者にいかに関わっていくか、ワークショップを通してともに学びました。

R E P O R T

西宮YMCA保育園

御恵を感じて

春、心躍るときを子どもたちは感じています。子どもたちが好きなお散歩路である夙川沿いの遊歩道では、春風の中桜吹雪舞う中で、季節の変化を喜んでいきます。花が散った後には、もう子どもたちは半そでシャツで次の季節に向かっていきます。

大人たちは重ねてきた年数が長ければ、譲れないもの、自分を縛るものが増え、変化を不安ととらえがちです。この一年を振り返れば、変化を強いられ、頑(かたく)にならねばなるほど、不安はストレスへと姿を変え、苛立ちや怒り、または疲弊感やしんどさを生んでいきます。

コロナ禍、震災、予期せぬような出来事だけでなく、社会が世界が大きく変わってしまうであろう今、大きな希望は、変化を喜びととらえる子どもの姿です。変化は時に試練でもありますが、その中でも新たな希望も与えられることを感じた一年でしたが、すべてがこの先の豊かな歩みへの導き、神様からの御恵(みめぐみ)だと感じています。私たちYMCAは子どもの育ちを支える、それは豊かな未来を創っていく働きです。目の前の子どものかかわりが豊かな未来につながっていることを感じて過ごしていきたいと思っています。



神戸市立たかとり児童館

子どもたちの遊び

神戸市立たかとり児童館は、児童館の横にたかとり公園がありますので、学童保育の子どもたちは雨が降ってなければ希望者は外で遊ぶことができます。今は、鬼にタッチされると鬼が増えていく“ふえおに”や、お尻につけたしっぽを取り合う“しっぽ取り”が大人気で、多くの子どもたちが公園で走り回っています。また、土曜日には児童館から10分程歩いたところにある左岸公園や衣掛公園で、サッカーやドッチボールを楽しんでいます。

館内では、遊戯室でソフトブロックを使って乗り物を作ったり、ままごとセットとくっつけて家を作ったり、レゴやLaQで思い思いの物を作るな

どイメージを膨らませて楽しんでいる子どもたちや、コマやヨーヨー、けん玉の技を競っている子どもたちがいます。また、図書室ではひとりで塗り絵や折り紙に集中している子どもたちもいますが、Amazon「みんなで応援」プログラムで寄贈いただいた、レシピヤペンギンパーティーといったカードゲームが大人気で、常に誰かが遊んでいます。

コロナ禍の中、今までとは違った環境ではありますが、彼ら彼女たちは仲間と自分たちがしたい遊びを選んで、今のその瞬間を楽しみながら過ごしています。



あかしこども広場

5年目がスタートします!

神戸YMCAが明石市より一部運営を受託している「あかしこども広場」の5年目がスタートします。あかしこども広場は、乳幼児から中高生世代の幅広い世代が集い、親子交流や子育て支援を目的に設置された明石市の施設です。

あかしこども広場内の「親子交流スペースハレハレ」は、人気の屋内大型遊具がズラリとそろい、乳幼児が楽しめる「ベビーゾーン」から、小学生が思いっきり身体を動かせる「アクティブゾーン」まで、親子で一緒に遊べる施設です。中でもエアト

ラックは、いつもより「高く跳べる」、「速く走れる」、「いろんな動きに挑戦できる」、人気の大型遊具となっています。また、子どもたちがチャレンジするのを保護者とスタッフが共に応援し、子どもが楽しみ、遊ぶことで成長できる場所を目指しています。

これからもあかしこども広場に集う方だけでなく、地域の皆様とも協力し、広くあかしこども広場を活用していただけるように運営を続けていきたいと思っています。



こくさいのまど

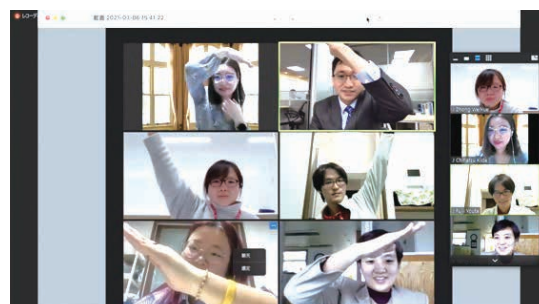
日中韓平和フォーラムに参加しました!

3月6日(土)に、第8回日中韓平和フォーラムが行なわれました。例年、日本・中国・韓国からの参加者が集り日中韓の平和について話し合うプログラムですが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響でオンラインにて開催されました。今回は、日本47名、中国23名、韓国20名、計90名の参加がありました。開会礼拝、挨拶のあと、各国の状況報告がありました。コロナ禍における社会的支援を実施していることや写真やオンラインを用いて国際交流等を行うことではなれていてもつながりを持つな

ど、様々な工夫が各国なされていました。その後、シニアとユースに分かれ、コロナがもたらした変化や自分たちができることについて意見を交わしました。これまでと違うプログラム展開の難しさはどの国も共通していて、情報交換を継続的にしたいという声も上がりました。

日中韓平和フォーラムは一つの会場に集まり3日間にも及ぶ国際的なプログラムです。本当なら皆さんと一緒に寝食を共にして語り合いたかったのですが、3時間のオンライン開催でもユースとの交

流は盛り上がりあつという間に時間が過ぎました。一日でも早くコロナが終息し、国際交流ができる日を切に願います。



キャンプ連載「私たちはどこから来て、どこへ行くのか？」

<#01 ミメシス 失われた模倣能力>

キャンプディレクター 阪田 晃一

“スピリンドン爺さんが身体を前後に揺らすのを見て、今、目にしているのが男の姿なのか、エルクなのか、私は困惑した。彼はエルクではなかったが、**エルクではない**というわけでもなかった。”

この印象的な文章は、デンマークの人類学者レーン・ウィラースレフが実際に体験した物語で、彼の著『ソウル・ハンターズ シベリア・ユカギールのアニミズムの人類学(2018)』は、私たちが<世界>だと思っているものとはだいぶ違う、しかしそこには人類史としては当たり前<世界>が存在することを伝えてくれます。

エルク(ヘラジカ)はシカ科の大型哺乳動物で、ユカギールの人々にとって貴重なタンパク源です。シーカヤックや山旅に出ると、タンパク質を自然から調達することがいかに難しいかがわかります。つまりそれは「狩り」の難しさを意味するので、文字通り、簡単には手に入りません。「ミメシス」とは模倣的感染です。“エルクではないがエルクでないとは言えない”境界線的存在であるスピリンドン爺さんは、エルクになりきっているのです。スピリンドン爺さんはこう言いました。

“私は二人のパーソンズ(人間)が踊りながら近

づいて来るのを見た。母親は美しく若い女で、歌いながらこう言ったんだ。『誉れある友よ、いらっしやい。あなたの手を取り、私たちの住まいにご案内しましょう』”

この時ウィラースレフは、エルクの毛皮を纏い、エルクの皮を張ったスキーを履き、踊っているエルクのようなスピリンドン爺さんの元に、エルクの親子が歩み寄ってくるのを目撃したのです。エルクもまた、人間になろうとしている境界線的存在だったのです。

“その時、私は二人を殺したんだ。もし彼女と一緒に行ってしまっていたら、私のほうが先に死んでいただろう。彼女が私を殺していただろう”

この失われた模倣能力を子どもたちはまだ有しています。想像してみましょう。想像力が豊かな子どもたちにとって、<世界>は自分と一体です。子どもたちは自由に曇になり、空になり、動物になり、植物になる。ミメシスの体験を積み重ねることによって、私たちが本来持っている力が呼び覚まされ、自然や地球のこと、仲間のことを気にかける「まとも」な人間が育つのです。

神戸YMCA賛助会

「神戸YMCA賛助会」は、現在36の法人が登録し、年会費によって神戸YMCAの公益活動をサポートくださっています。

有限会社クレセントインターナショナル、株式会社竹中工務店神戸支店、生活協同組合コープこうべ、白鶴酒造株式会社、兵庫トヨタ自動車株式会社、株式会社神戸風月堂、株式会社 サンテックサービス、損害保険ジャパン株式会社、社会福祉法人光朔会オリンピック、有限会社わかばやし印刷、株式会社ジャパン・リリーフ、不二熱学サービス株式会社、富士ゼロックス兵庫株式会社、神戸キリスト教書店、エム・シーシー食品株式会社、株式会社神戸ポートピアホテル、菱三印刷株式会社、株式会社 ウイング、株式会社エーアンドディー設計企画、第一電子株式会社、有限会社イースター式典社、株式会社サンビルダー、神戸信用金庫、村田建設株式会社、株式会社サンケイビルマネジメント、株式会社みなと銀行、小倉サンダイン株式会社、株式会社ホテルニューアワジ、株式会社ドコモC S 関西、株式会社RE PRODUCTS PROJECT、シンコーフラワーセンター、セコム株式会社兵庫本部、株式会社三井住友銀行、株式会社ボンヌール写真室、兵庫日産自動車株式会社、JTB教育旅行神戸支店

(2021年1月31日現在)

神戸YMCAの使命 (日本YMCA基本原則)

- イエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学びます。
- すべての人びとの全人的な成長を願い、いのちを守り育てます。
- 人権を守り、喜びと痛みを分かちあう社会をめざします。
- 世界の人びとと共に、平和の実現に努めます。

神戸YMCAの願い (日本YMCA中期計画2020)

すべての「いのち」が光り輝くように、これを守り育てます。そのための活動に世代を超えた市民の参加を求め、その活動を通して新しいコミュニティを創造します。

「日本YMCA大会と同盟表彰」

第21回日本YMCA大会が2月23日にオンラインで開催されました。今年はコロナ禍にあって不自由な生活を余儀なくされていますが、「いまこそ、ポジティブネット みつける、つなげる、よくなっていこう！」のスローガンのもとで、多くの方からの熱いメッセージと良い交流の機会が与えられました。例年であればこの大会において、永年にわたってYMCA運動の発展に寄与された会員、職員の表彰が行われるのですが、コロナの影響により叶いませんので、6月に予定されている神戸YMCA大会において表彰を執り行います。神戸YMCAの関係者は以下の通りです。感謝をもってご報告いたします。

(敬称略)

【50年継続会員賞】

山本常雄、柳敏晴、玉村由紀、山路正明

【25年継続会員賞】

名田敦子、飯田啓一、森弘子、張玉姫、和田祥子、米田輝久、小川洋子、鈴木肇、水野厚、逸見篤、清海成明、秋山みつ枝

【25年勤続者賞】

谷川尚、三木圭子

【青少年奉仕賞】

長沢百合子、丹羽和子、青柳美知子、岡田佑一郎、瀧瀬真知子、市原正幸、濱浩一、鈴木博和、廣瀬一雄、鈴木光子

感謝・寄附

(敬称略、順不同) (前号掲載以降~2/28現在)

ポジティブネット募金

大野 勉、館 忠之

国際協力募金

学校法人啓明学院、社会福祉法人神戸YMCA福祉会、社会福祉法人神戸婦人同協会青谷愛児園、宝塚ワイズメンズクラブ、芦屋ワイズメンズクラブ、神戸ワイズメンズクラブ、さんだワイズメンズクラブ

この他にも、多数の募金・寄附をいただいております。感謝をもってご報告します。

ファミリーウエルネスセンター
ランゲージセンター
専門学校
西宮YMCA
余島野外活動センター
デイキャンプ&コミュニティサービス(兼キャンプ事務局)
国際・奉仕センター
ウエルネスセンター学園都市
西神戸YMCA
神戸YMCA高等学院
YMCAおひさま

☎078(241)7202
☎078(241)7204
☎078(241)7203
☎0798(35)5987
☎0879(62)2241
☎078(241)7216
☎078(241)7204
☎078(793)7401
☎078(793)7402
☎078(793)7435
☎078(793)9077

西神南YMCA
須磨YMCA
YMCA保育園
西宮YMCA保育園
西神戸YMCA保育園
神戸学園都市YMCAこども園
神戸YMCAちとせ幼稚園
YMCAちとせ保育ルーム
西神戸YMCA幼稚園
西宮つとがわYMCA保育園
あかしこども広場
学園都市YMCA保育ルーム

☎078(993)1560
☎078(734)0183
☎078(794)3901
☎0798(35)5992
☎078(792)1011
☎078(791)2955
☎078(732)3542
☎078(786)3821
☎078(997)7705
☎0798(26)1016
☎078(918)6355
☎078(794)3045

